事務事業	マネ	ジメン	ノトシート	(20年度	実績と21年	度計画)	21年度予算編 20年度決算把	献後 平成 握後 平成	21 年 21 年			作成 作成
事務事業名 文化芸術自主事業実行委員会支援事業							マニフェスト 関連	全庁横 課題関	断	集中改プラン関	(革	
総 政 策	策 4 みんな元気で笑顔あふれるまちづくり						所属部 教育委員会事務局					
計施策	20	生涯学習の推進					所属班 生涯学習班 (内線) 1503					
体 基本事業	67	学習・スポーツの啓発					法令根拠					
予算科目	会計 1	款 10	項 目 5 6	事業連番 10798		年度で終了	【 1 で終了 ②1年度から開始 成果優先度評価結果 1 コスト削減優先度評価結果 7					
事業期間 事務事業の概要(□ 単	年度のみ	み 🔽 単年度	期間限定複	数年度 (~	0.600	年度				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 【事業の内容】 自主事業実行委員会を組織し、年間の事業の企画立案・事業の実施を行う。												
【業務の流れ】 自主事業実行委員会の組織、年2回程度の実行委員会会議の開催、企画・立案、事業の実施、会計監査、事業実績報告書の作成・検証。												
【主な予算費目】 3 職員手当 19 負担金補助及び交付金												
1 現状把握の部	/DO E	or VVI)										
(1) 事務事業の目 ① 手段(主な活動	的と指					- 91年日	支計画 (21年度	デュ 計画)で	、スナカ活動	47 (DI 7		
② 子校 (土な店製 20年度実績(20年 実行委員会を3回開	度に行					実行委	受計画(21年度 員会を3回開催 イエンスショー・	し自主事業を	9回予定しては	ハる。(映	は画・ドレミの	
美仃安貝云で0凹冊	.1催し、⊨	1土肀未	:を8凹夫加した	.0			カロスクョー・ 動及び公演(2		129 I II.	丈貝がル	そ゛ノヘ ハン 豚リ	760
						5活動	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)					
二二年/建二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	1.A.) -	, ~).\`	7 ~ 2 7 2 1 5		<u></u>	: → 7	□ ア開催数 □					
② 対象(誰、何を) 市民	対家に	L'CV V	507711 * 八八	2日	ž.		⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ⇒ 市内の人口					
③ 意図(この事業							果指標(意図の			指標		(単位)
市民が文化芸術活動						⇒ 1	興味を持った人				10 - 1 - pr	人
④ 上位の目的(さ学習やスポーツに取	り組むこ	ことの必	必要性を認識で			_ ア	立成果指標(上 学習に親しむ材	きまがあると思	う市民の割合	ì	り指標	(単位) % %
施設や学習内容を失 (2) 総事業費・指標					- > fee p fe		スポーツに親し				**************************************	
	···· A	単位	夫績(次昇)	19年度 実績(決算)			21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)		全体計画 ~	年度
財 都道府県	支出金	千円	400	2,813	500	400	400	400	400	期間		
源 地方事内 その		千円	8,461	8,179	6,633	5,486	6,308	6,100	6,100	総ト定		
	材源	千円	13,500	11,000	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	上複数		
人量 (A)事業 うち指定	足経費	千円	22,361	21,992	13,633	12,386	13,208	13,000	13,000	ル年ョコ度		0
方ち時間外、特 人 正規職員従	事人数	人	4	7	7	7	7	7	7	スのトみ		
件延べ業務費(B)人件事	計	時間 千円	1,500 5,955	5,970	1,500 5,970	5,970	5,970	1,500 5,970	1,500 5,970	載		0
トータルコスト(A 活動指標	()+(B) ア	千円	28,316 10		19,603 8	18,356 8	19,178 9	18,970 7	18,970 7			0
対象指標	イ ア	人	53303	53909	54518	54518	55124	56000	57000			
成果指標		人	3890	3800	3800	3800	3800	3800	3800	数計 値画		
上位成果指標	イア	%	45.1	50.8	45.5	47.3	45.8	46		22		
(3) 事務事業の環	1	% ・住民i	42.6 意見等	46.5	43.3	44.3	43.6	44		年度		
① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 平成7年11月に総合センターのオープンに伴い、文化会館の活用と文化芸術の振興を目的に自主事業が始まっている。												
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?												
平成7年11月から文化会館の活用と文化芸術の振興を目的に自主事業が始まり、実績は十分であるが、合併に伴う対象人口の増加、啓発手法の変化に伴い、 合併初年度は来場者数減少の現象が見られた。												
また、ジャンルによっ	て入場	率にば	うつきが見られ	る。								
③ この事務事業は来場者のアンケート									にいるか?			
入場者数が少なかっ												

② 許確の所係に対象を持ている。		事務事業名	文化芸術自主	事業実行委員会	支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課		
・ 中華等争の自治は知識を含えればいている。	2										
□ ○ ○ 本共 日 ○ ○ 公共 日 ○ ○ ○ 公共 日 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		①政策体系との整	全合性				⇒3評価結果の総括	(SEE) k	三反映		
かっている。		この事務事業の目的は市の	n政策休系に結びつく				で出て学習の改みた行う				
から、		か?意図することが結果に	結びついているか?	本物の舞音芸術を	「甲氏に使	共り ることり	(生涯子首の合発を行う	0			
から、	I										
プロリーション (2月 日本の 1998年) 1998年		② 公共関与の妥	当性	見直し余地がる	ある ⇒ 【∄	理由】る	⇒3評価結果の総括	(SEE) k	反映		
# 大性を高め、受価で多いである。 理由 ③ 3評価結果の総括(SEE)に反映 可能の表現では対すべないである。 理由 ③ 3評価結果の総括(SEE)に反映 のまたいたい。 理由 ③ 3評価結果の総括(SEE)に反映 のまたいたい。 理由 ③ 3評価結果の総括(SEE)に反映 のまたいたいたいの成果への影響 可比金地がない。 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) の原止・休止の成果への影響 可能と参しない。 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) の原止・休止の成果への影響 可能と参しない。 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) であままままままままままままままままままままままままままままままままままま	妥			▼ 妥当である	\Rightarrow $($ \exists	里由プラ		, , , ,			
(日本)	当	なぜこの事業を市が行わな	ければならないのか? B 的か?					り一部のす	市民にしか還元できないことから、公		
無	性		H 13//- :	共性を高め、安価	で多様的に	多くの市民	に提供できる。				
一			5 11/ 14T	日本1 人加北	ナフ \ ▼⊤	m + 1 1 1	10短年仕用の処括	(OPP)) 3	- III 11th		
# 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	ΊЩ	③ 刈家・思凶の多 	を目1生				→3評価結果の総括	(SEE)	-		
② 成果の向上全地		対象を限定・追加すべきか	·?意図を限定・拡充す		→ [½ 犬で適切で	±□】♥ ある。					
□ 向上金池がた) → [理由] □		べきか?		ᄭᇌᄾᇒᄧᆖᆫᅛᅒᄭᄾᄤᄳᄾᅄᇄᇬ							
南上金地北からかはおからかままの現代を表現を表現している。											
成果の上が明で含むいから、 本書の上が明で含むいから、 一部		④ 成果の向上余	地				⇒3評価結果の総括	(SEE)	反映		
京庭・作木にの成果への影響			7かの中田の理仏士								
(② 廃止・休止の成果への影響		準とあるべき水準との差異に	はないか?何が原因で	広報周知の更なる努力を図り、集客の向上に努めなければならない。							
デース		成果向上が期待できないの	Dか?								
対 等等素を終生・作业した場合の影響の有無と お見せ参加を操作・生産業習者推進する中で、誰でもが気軽に参加できる文化芸術活動の場が失われ、文化的 やとり教育が衰退する度がある。		⑤ 廃止・休止の匠	は果への影響	□ 影響無 ⇒【3	理由】5へ		21年度計画(21年度	に計画し	ている主な活動)(PLAN)		
# (有		(2) (V) (V) (V) (V) (V) (V) (V) (V) (V) (V			₽		(-ні ЩО			
(個) 類似事業との依廃合・連携ができる。 (具体的な手段、事務事業)	效		場合の影響の有無とそ				る中で、誰でもが気軽に	参加できる	文化芸術活動の場が失われ、文化的		
価 (類似事業との統廃合・連携の可能性				ゆとり教育が衰退	する虞があ	る。					
可能性 部がたからの総称表とかに表のかできなか? 期の素色が必要素を描したより、成果の向上 が明存さるか? ① 事業費の削減余地 一			+ -		. 5 /	H // // >	- cn				
日前の近地は上のによった事故事と以外をに方 「知知の主にから連続を図ることにより、成果の向上 「別議会地がある」 「理由】 → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → → →	1世		が発台・連携(/)	他に手段があ	る ひ (,	具体的な-					
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##		* **- *	事務事業以外他に方	□ 幼成人,油	惟ができる	√	由15 →2並年生	田の紗拝	(CDD) /z = Urb		
他に類似する事業がない。		法はないか?類似事業との)統廃合ができるか?					未の総括	(SEE) C 及映		
② 事業費の削減余地			とにより、成果の向上			· → []	ЕШ / ♥				
(② 事業費の削減余地 □ □ □ □ □ □ □ □ □											
歳果を下げずに事業費を削減できないか? (✓ 他に手段がな							
城県や下は中に事業を利献できないか? (比 城助事業等活用し採択を目指す。 また、買取公演だけではなく、地元で活動している団体を市の事業というスタイルで公演を実施することにより、事業数を減らさず、安価に事業を実施できる。		⑦ 事業費の削減	余地				⇒3評価結果の総	活(SEE)に反映		
# また、寛政公演だけではなく、地元で活動している団体を市の事業というスタイルで公演を実施することにより、事業数を減らまず、安価に事業を実施できる。 本表数を減らまず、安価に事業を実施できる。 「関助会・地がかった果を打すにいた国職段の総括(SEE)に反映 「削減余地がある 「理由]		出用な下げずに事業書が	別はできないか9(4								
事業数を減らさず、安価に事業を実施できる。 本書	效		の協力など)				動している団体を市の事	業というス	タイルで公演を実施することにより		
評価 (アース・大学の中国 1971) (率							*C*)/\	グイルでは決定人間があるこれの人		
一		⑧ 人件費(延べ業	美務時間)の削	▼ 削減余地があ	る ⇒ 【∄	理由】つ	⇒3評価結果の総	活(SEE)に反映		
一		減余地		□ 削減余地がな		•					
おりにおうに来称元美を美現する。 公 ⑨ 受益機会・費用負担の適正 見直し余地がある ⇒【理由】 →3評価結果の総括(SEE)に反映	ΉЩ		WHAT IN A THE THE THE A TO	技術管理委託により、高度な舞台技術操作と職員の勤務時間の軽減を図っている。前年度の実績を検証し、目							
平 化余地 性事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平 実施計画についても、情報の収集により適正に進め、全市民を対象に啓発し、入場者の意見聴取した上で実施 評ではない。 受益者負担が公平・公正になって している。 3 評価結果の総括(SEE) (1) 1次評価者としての評価結果 ① 自的妥当性 ② 適切 ② 見直し余地あり ② 有効性 ③ 適切 ② 見直し余地あり ③ 効率性 ② 適切 ② 見直し余地あり ④ 公平性 ② 適切 ② 見直し余地あり ④ 公平性 ② 適切 ② 見直し余地あり ● 別さしまいあり ● 別さしまいます。 「1) 日的妥当性 ② 適切 ② 見直し余地あり ② 有効性については、生涯学習の推進につながり、妥当である。 ② (2) 全体総括(振り返り、反省点) (1) 自的妥当性については、佐報周知の徹底で来場者を増やす。 ③ 効率性については、広報周知の徹底で来場者を増やす。 ③ 効率性については、市民全体を対象に開催し、公平である。 ④公平性については、市民全体を対象に開催し、公平である。 ● 公平性については、市民全体を対象に開催し、公平である。 ● 本書の方向性(事務事業担当課案)(PLAN) (1) 今後の事業の方向性(改革改善案) ・・複数選択可 事業のやり方改善(公平性改善) 事業のやり方改善(公平性改善) 事業のやり方改善(公平性改善) 「事業が廃合・連携 ▼ 事業のやり方改善(有効性改善) 「事業のやり方改善(公平性改善) 「事業のかり方改善(公平性改善) 「事業のかり方改善(公平性改善) 「事業のかり方改善(公平性改善) 「財政・維持・増加」成 「向上 (原止・休止の場合は記入不要) 「現状維持・(従来通りで特に改革改善をとない) 事業の効率性を高め、補助事業の活用、広報活動の強化などで集客向上に努める。 (3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策											
平 化余地 性事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平 実施計画についても、情報の収集により適正に進め、全市民を対象に啓発し、入場者の意見聴取した上で実施 評ではない。 受益者負担が公平・公正になって している。 3 評価結果の総括(SEE) (1) 1次評価者としての評価結果 ① 自的妥当性 ② 適切 ② 見直し余地あり ② 有効性 ③ 適切 ② 見直し余地あり ③ 効率性 ② 適切 ② 見直し余地あり ④ 公平性 ② 適切 ② 見直し余地あり ④ 公平性 ② 適切 ② 見直し余地あり ● 別さしまいあり ● 別さしまいます。 「1) 日的妥当性 ② 適切 ② 見直し余地あり ② 有効性については、生涯学習の推進につながり、妥当である。 ② (2) 全体総括(振り返り、反省点) (1) 自的妥当性については、佐報周知の徹底で来場者を増やす。 ③ 効率性については、広報周知の徹底で来場者を増やす。 ③ 効率性については、市民全体を対象に開催し、公平である。 ④公平性については、市民全体を対象に開催し、公平である。 ● 公平性については、市民全体を対象に開催し、公平である。 ● 本書の方向性(事務事業担当課案)(PLAN) (1) 今後の事業の方向性(改革改善案) ・・複数選択可 事業のやり方改善(公平性改善) 事業のやり方改善(公平性改善) 事業のやり方改善(公平性改善) 「事業が廃合・連携 ▼ 事業のやり方改善(有効性改善) 「事業のやり方改善(公平性改善) 「事業のかり方改善(公平性改善) 「事業のかり方改善(公平性改善) 「事業のかり方改善(公平性改善) 「財政・維持・増加」成 「向上 (原止・休止の場合は記入不要) 「現状維持・(従来通りで特に改革改善をとない) 事業の効率性を高め、補助事業の活用、広報活動の強化などで集客向上に努める。 (3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	/\	◎ 巫光挑△.弗目	日名担の済工	日本1 人地ぶ	+ 7\ [T	H+1 -	コの証無外用の数	(CEE	\ / z = \ \ \ n h		
性 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平 実施計画についても、情報の収集により適正に進め、全市民を対象に啓発し、入場者の意見聴取した上で実施ではないか?受益者負担が公平・公正になって (にない) 大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大			用負担の適比				→3評価結果の総	i括(SEE	に反映		
評 にないか? 受益者負担が公平・公正になって している。 3 評価結果の総括(SEE) (1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性			者に偏っていて不公平				適正に進め 全市民たち	け免に改み	こ 入児者の音目聴取した上で実施		
個		ではないか?受益者負担な	が公平・公正になって		で、旧刊の	松未により	旭正に定め、王川氏を入	リ外に合力	し、八場有の息光幅取した工で失肥		
(1) 1次評価者としての評価結果	伳	いるか?									
① 目的妥当性 ② 有効性 ② 有効性 ③ 効率性 ④ 公平性 ② 前切 □ 適切 □ 適切 □ 過切 □ 適切 □ 過し余地あり 見直し余地あり 見道し条地あり 日本では、広報音を増やす。 日本では、広報音を増やす。 日本では、広報音を開催し、公平である。 日本では、広報音については、広報音を増やす。 日本では、広報音を開催し、公平である。 日本では、広報音については、広報音については、広報音を増やす。 日本では、広報音を開催し、公平である。 日本では、広報音については、広報音を開催し、公平である。 日本では、広報音については、広報音を開催し、公平である。 日本では、広報音については、広報音を開催し、公平である。 日本では、広報音については、広報音を開催し、公平である。 日本では、広報音については、広報音にのまる。 日本の本書を見るといる。日本の本書を見るといては、広報音については、広報音については、広報音については、広報音については、広報音については、広報音については、広報音については、広報音については、広報音については、広報音については、広報音にのよりに表しまする。 日本の本書を表しまする。日本の本書を						_					
① 目的妥当性 ② 有効性 ② 有効性 ③ 効率性 ④ 公平性 ② 前切 適切 適切 ■ 見直し余地あり ■ 日の再覧に ■ 事業が廃合・連携 ■ 事業のやり方改善(有効性改善) ■ 事業のやり方改善(公平性改善) ■ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ■ 第次の対象性を高め、補助事業の活用、広報活動の強化などで集客向上に努める。 ■ ロースト ■ 「対域・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・	(1)1次評価者として	の評価結果			(2)			477 0 1474 t. 1811 - T. Wt. 7		
② 有効性 ③ 効率性 ④ 公平性		① 口铅亚水桶		m = 8 =	O A 116+	20					
③ 効率性 ④ 公平性					し宗地の	n 📥					
④ 公平性											
(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 廃止											
(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 廃止		A //.									
廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善) 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 事業の効率性を高め、補助事業の活用、広報活動の強化などで集客向上に努める。 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト					_				(6) 北井 北美) 2 トフ 地		
▼ 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善) コスト 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 事業の効率性を高め、補助事業の活用、広報活動の強化などで集客向上に努める。 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	_					▼ 車業の	nぬn士み美(右為州み)	定 /			
□ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 事業の効率性を高め、補助事業の活用、広報活動の強化などで集客向上に努める。 □ □ 上 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	■										
(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 関減 【維持】 増加										
(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	事業の効率性を高め、補助事業の活用、広報活動の強化などで集客向上に努める。										
(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策											
	(9	(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)レその解決策									
	ٔ ا										
「 東攻東光云地南並位外田 (佐衛の佐代部 E の () ()	Ļ	市	过年生 / 46/25	の休任細ドのかり	工\						
5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括) (1)目的の直結度 1 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)						1~3	直結度中 4~6	直紅1			